

### ロボット操作訓練を実施しました

2月27日、原子力災害を想定したロボット操作訓練を実施しました。

原子力災害の発生により発電所建屋内の放射線量が高くなり、所員が立ち入りできなくなった場合、ロボットを遠隔操作して設備の状況などを調査することとしています。

本訓練は、ロボット操作技術のさらなる向上を図るため実施しているものであり、今回は、実際の災害発生時と同様に放射線保護衣を着用した参加者が、偵察用ロボットと作業用ロボットの計3台を使用し、照明が消えた建屋内を模擬したコースで、障害物の除去や走行、計器の読み取りなどを行いました。



放射線保護衣と全面マスクを着用し  
モニター映像を見ながらの遠隔操作



訓練で使用した3台のロボット



アームを使った障害物の受け渡し



バランスをとりながらの階段の上り下り

#### 【訓練に参加して】

暗い作業環境の中、ロボットから送られてくる映像を頼りに「一動作一確認」を徹底することで、課題をクリアすることができました。

また、判断に迷ったときも、他の操作者としてしっかりコミュニケーションをとることを心がけました。

今後も操作技術のレベルアップに努めていきます。



機械保修課  
馬場 優

### 自己啓発に励む所員を紹介します

当発電所では、所員自らが日頃から能力の伸長に努め、業務における専門性の向上を図るとともに、発電所を安全かつ安定的に運営できるよう、各種資格の取得に力を入れております。

2019年度に資格を取得した所員の中から、難関資格に合格した2名を紹介いたします。

資格名称 原子炉主任技術者

この資格は、原子炉の運転に関する保安の監督を行う“原子炉主任技術者”となるために必要な資格です。

筆記試験のほかに面接試験があるため、先輩方からアドバイスをいただいたり、想定問答集を作成しリハーサルを行ったうえで試験に臨みました。

資格取得を通じて得た知識や安全に対する姿勢を日常業務に生かし、将来に向けて経験と知識をさらに積み上げていきます。



発電管理課  
小池 都司

資格名称 放射線取扱主任者 1種

この資格は、原子力発電所など放射性物質を取り扱う事業所において、作業員の放射線障害の防止について監督を行うための資格です。

原子力発電所に勤務する者として、作業時における安全管理や放射線測定結果の評価業務などにおいて、資格取得を通じて学んだ知識を役立てることができると思い挑戦しました。

今回の資格取得を新たなスタートとして、今後も放射線に関する知識を深めていきたいと思っています。



放射線管理課  
湯浅 那央斗

### 有線式通話装置訓練を実施しました

2月27日、有線式通話装置を使った訓練を実施しました。

当発電所は、自然災害などの発生により発電所内の電源が全て喪失し、PHSなどの無線式通話装置が使用できなくなった場合でも、建屋内各所にある接続ポイントにケーブルをつなぐことで通話が可能となる有線式通話装置を備えております。

本訓練は、機材の接続から通話までの手順確認を目的に実施しているものであり、参加者は通話音声の状態などを一つ一つ丁寧に確認しました。

今後も、さまざまな状況を想定した訓練を行い、非常時における対応力の向上に努めてまいります。



中央制御室内でケーブルを接続



放射線保護衣を着用した状況で  
通話ができることを確認